

『FFG調査月報7月号』発行について

経済調査誌『FFG調査月報7月号』を発行しましたのでお知らせいたします。
今月のメインレポートは、地域と共生するFFG「福岡のまちと共生する屋台へ」です。
FFG調査月報は福岡銀行、熊本銀行、親和銀行の営業店の窓口に配置しております。
尚、今月から「経済動向」「経済指標」は、九州7県（沖縄を除く）のデータを掲載しています。（福岡県、熊本県、長崎県、佐賀県⇒九州7県）

【メインレポート】

地域と共生するFFG

九州各県の様々な取り組みをご紹介するコーナーです。

福岡のまちと共生する屋台へ

福岡市総務企画局

屋台は、「福岡らしさを象徴する存在」として全国的に認知されている一方、その数は年々減少しています。また、一部の屋台営業者によるルール違反等により、地域住民の方の理解が十分に得られていないという実態もあります。このような現状を改善し、「福岡のまちと共生する持続可能な屋台」を目指して、福岡市が行っている取り組みをご紹介します。

トップに聞く

FFG 3行の頭取が、各行のお取引先を訪問する「トップに聞く」のコーナーです。お取引先の3法人を訪問し、代表者の皆様からお話を頂きました。

よしのり 猪口 芳範 氏（株式会社 イケヒコ・コーポレーション 代表取締役会長）

みずま
福岡県三潴郡に本社を置き、「い草」製品の製造・販売を行う企業。独自の高付加価値商品販売で利益を確保する体制を構築し、大手量販店との取引を拡大することで「い草」製品業界の最大手企業に成長されました。現在は、自社農場で「い草」の栽培を行う等、国産「い草」の再興に注力する一方、海外進出も視野に入れておられます。

のうとみ 納富 誠一 氏（有限会社 一柳（パティスリー イチリュウ） 代表取締役社長）

福岡市中央区に本社を置き、洋菓子の製造・販売を営む企業。飴屋、和菓子店を経て洋菓子専門店で業態を転換し、現在は福岡市近郊を中心に直販店9店舗を展開され、婚礼引菓子においても厚い支持を得ておられます。今後は、6年後に迎える創業100周年までのフランス出店という夢の実現に向かって邁進されます。

白石 保 氏（長崎県島原手延そうめん振興会 会長）

長崎県南島原市に本部を置き、「島原手延そうめん」ブランドを確立する為、厳格な認証制度の下、味や品質の統一を図るとともに、行政と連携し、全国各地でPR活動を行っておられます。今後は、九州産の小麦を使用した“純国産”の「島原手延そうめん」を作ることや、アジアでの販売を目標としています。

特 集

景況感調査アンケート、事業者アンケート

F F Gが2013年5月に実施した「景況感調査アンケート」（福岡県、熊本県、長崎県、佐賀県の企業を対象）及び、太陽光発電システムへの投資に関する「事業者アンケート」の結果をレポートいたします。

DATA in 九州

今月の注目データ

九州各地の特徴的なデータを毎号掲載いたします。今月は、「手延べそうめんの生産量」と「過去10年間の平均年間降水量」についてご紹介します。

《 本件に関するご照会先 》
株式会社 F F Gビジネスコンサルティング
企画調査部 森山・大仲
TEL 092 - 723 - 2576